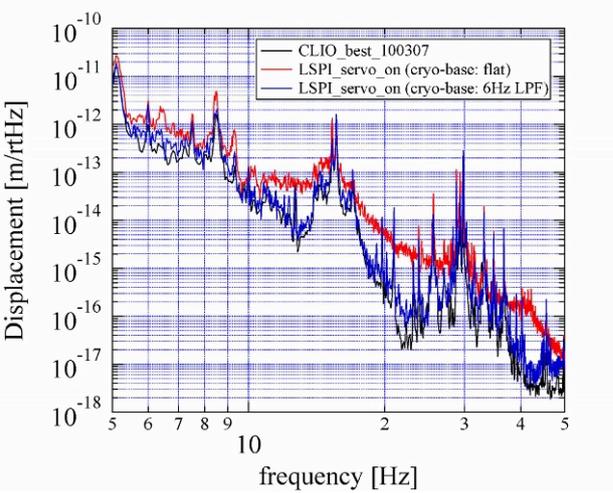


## 平成23年度共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名	和文：神岡での重力波観測(X) 英文：Gravitational Wave Detector in Kamioka (X)
研究代表者	宇宙線研・准教授 大橋正健
参加研究者	宇宙線研・教授・黒田和明 准教授・川村静児 助教・高橋竜太郎・三代木伸二・内山隆・宮川治・大石奈緒子 D3・斎藤陽紀 高エネ機構 教授・齊藤芳男・鈴木敏一 理学部・助教・麻生洋一 新領域・助教・森脇成典 光量子科学研究センター・教授・三尾典克 地震研・准教授・新谷昌人 国立天文台 助教・辰巳大輔 阪大理・助教・田越秀行 山梨英和・助教・高橋弘毅 大阪市大・教授・神田展行 産総研・研究官・寺田聡一
研究成果概要	<p>今年度は、これまで進めてきた CLIO の感度向上実験と低温懸架系の開発を続けた。とくに LSPI は LCGT を安定に動作させるためにも必要な低温ダンピング技術であり、この完成を急ぐものである。下に示すグラフの通り、LSPI によって CLIO を運転することまでが可能となり、これを論文にまとめた。</p>  <p>また、CLIO によって成功した低温鏡による感度向上についても論文にまとめ、出版した。</p> <p>T. Saito, et. al., Journal of the Vacuum Society of Japan, 54 (2011), 614-620. T. Uchiyama, et. al., Physical Review Letters, 108, 141101 (2012)</p>
整理番号	